

統合報告書 2024 およびサステナビリティブック 2024 を発行

当社（本社：東京都千代田区、社長：中戸川 稔）は、この度、「統合報告書 2024」および「サステナビリティブック 2024」を発行いたしました。

統合報告書 2024

統合報告書は、ステークホルダーの皆さまへ持続的な企業価値向上に向けた中長期戦略とサステナビリティ方針、それぞれの取り組みなどを紹介し、当社グループへの理解をより一層深めていただくための、財務情報と非財務情報を集約した報告書です。

今回発行した統合報告書 2024 では、企業価値向上に加えサステナビリティへの取り組みに向けたトップメッセージ、財務担当役員メッセージによる財務戦略、独立社外取締役からのメッセージのほか、各責任者のメッセージを掲載しました。

その他、事業戦略では、各事業の強みや特長をはじめ、中期経営計画 2025（2023～2025 年度）で発表した戦略を直近の市場環境に即して更新しています。また非財務情報では、カーボンニュートラルに向けたロードマップを新たに加え、事業活動における気候変動対策および推進状況を紹介しています。

今後も当社グループの中長期の事業戦略や財務戦略、サステナビリティへの考え方・取り組みを分かりやすくお伝えすべく、内容の充実に努めてまいります。



【統合報告書 2024】

PDF ダウンロードはこちら <https://www.furukawakk.co.jp/ir/library/annual.html>

■ 統合報告書 2024 の主な特長

1. 当社グループの概要

当社グループを構成する各セグメントの紹介や業績の構成等、イラストで分かりやすく図示。

2. 価値創造プロセス

価値創造プロセスを、見やすく、分かりやすいデザインに刷新。価値創造の具体例として、社会課題を解決するベルトコンベヤやミニ・クローラクレーンをクローズアップして紹介。

3. トップメッセージ、財務担当取締役メッセージ

企業価値向上への取り組みや「中期経営計画 2025」の進捗等について、代表取締役社長、財務担当取締役の考えや想いを掲載。

4. 事業戦略

事業部門の「中期経営計画 2025」で示した基本戦略・重点課題・事業（製品）ポートフォリオに加え、具体的な成長戦略を直近の状況に即して更新。社会課題、見通し、それに対する主な取り組み等を製品別に表で整理。

5.古河機械金属グループのサステナビリティ

2025年のあるべき姿とサステナビリティ推進体制、マテリアリティ（重要課題）の特定など、当社グループのサステナビリティへの取り組みについて掲載。

6.当社グループのESG

ESGについての考えや取り組み、カーボンニュートラルに向けたロードマップやTCFD提言に基づく開示など、サステナビリティに係る責任者のメッセージとともに掲載。

主なページ画像

古河機械金属グループのサステナビリティプロセス

本図は、本グループのサステナビリティに関する取り組みの概要を示しています。本図は、本グループのサステナビリティに関する取り組みの概要を示しています。本図は、本グループのサステナビリティに関する取り組みの概要を示しています。

【インプット】

- 経営理念
- 経営方針
- 経営戦略
- 経営計画
- 経営方針
- 経営戦略
- 経営計画

【プロセス】

- 経営方針
- 経営戦略
- 経営計画
- 経営方針
- 経営戦略
- 経営計画

【アウトカム】

- 経営方針
- 経営戦略
- 経営計画
- 経営方針
- 経営戦略
- 経営計画

【目標】

- 経営方針
- 経営戦略
- 経営計画
- 経営方針
- 経営戦略
- 経営計画

トピックス

中長期計画2025の達成に向けて、2025年シナリオの発表をお願いします。

本日は、古河機械金属グループのサステナビリティに関する取り組みの概要を示しています。本日は、古河機械金属グループのサステナビリティに関する取り組みの概要を示しています。本日は、古河機械金属グループのサステナビリティに関する取り組みの概要を示しています。

2025年のあるべき姿とサステナビリティ推進体制、マテリアリティ（重要課題）の特定など、当社グループのサステナビリティへの取り組みについて掲載。

ESG戦略

本日は、古河機械金属グループのサステナビリティに関する取り組みの概要を示しています。本日は、古河機械金属グループのサステナビリティに関する取り組みの概要を示しています。本日は、古河機械金属グループのサステナビリティに関する取り組みの概要を示しています。

2025年のあるべき姿とサステナビリティ推進体制、マテリアリティ（重要課題）の特定など、当社グループのサステナビリティへの取り組みについて掲載。

業績概況

本日は、古河機械金属グループのサステナビリティに関する取り組みの概要を示しています。本日は、古河機械金属グループのサステナビリティに関する取り組みの概要を示しています。本日は、古河機械金属グループのサステナビリティに関する取り組みの概要を示しています。

2025年のあるべき姿とサステナビリティ推進体制、マテリアリティ（重要課題）の特定など、当社グループのサステナビリティへの取り組みについて掲載。

ESG戦略

本日は、古河機械金属グループのサステナビリティに関する取り組みの概要を示しています。本日は、古河機械金属グループのサステナビリティに関する取り組みの概要を示しています。本日は、古河機械金属グループのサステナビリティに関する取り組みの概要を示しています。

2025年のあるべき姿とサステナビリティ推進体制、マテリアリティ（重要課題）の特定など、当社グループのサステナビリティへの取り組みについて掲載。

ESG戦略

本日は、古河機械金属グループのサステナビリティに関する取り組みの概要を示しています。本日は、古河機械金属グループのサステナビリティに関する取り組みの概要を示しています。本日は、古河機械金属グループのサステナビリティに関する取り組みの概要を示しています。

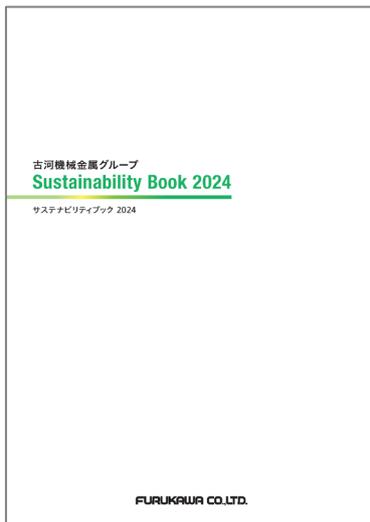
2025年のあるべき姿とサステナビリティ推進体制、マテリアリティ（重要課題）の特定など、当社グループのサステナビリティへの取り組みについて掲載。

サステナビリティブック 2024

サステナビリティブックは、ステークホルダーの皆さまに当社グループのサステナビリティへの取り組みについて理解を深めていただくため、統合報告書で開示している内容に加え、詳細な活動報告や ESG に関するデータを掲載した報告書です。

今回発行したサステナビリティブック 2024 では、当社グループのマテリアリティ（重要課題）をもとにページを構成し、各項目に対しサステナビリティに関する方針・戦略、ガバナンス体制、指標・目標、リスク管理、取り組みを体系的に掲載し、当社グループの考えや活動を分かりやすく紹介しています。

今後も、当社グループのサステナビリティへの考え方や中長期の成長性を非財務面から明確に開示し、内容の充実に努めてまいります。



【サステナビリティブック 2024】

PDF ダウンロードはこちら https://www.furukawakk.co.jp/sustainability/library/csr_report.html

■ サステナビリティブック 2024 の主な特長

1. 当社グループのマテリアリティ（重要課題）
当社グループのマテリアリティ（重要課題）と目標、活動実績等を掲載。
2. ページ構成の刷新
当社グループのマテリアリティ（重要課題）をもとにページを構成し、各項目に対しサステナビリティに関する方針・戦略、ガバナンス・体制、指標・目標、リスク管理、取り組みを体系的に掲載。
3. 活動報告
2023 年度の主なサステナビリティへの取り組みについて、図表や写真を用いて分かりやすく掲載。
4. ESG データ
ESG に関わる数値データを集約して掲載。

主なページ画像

重要業績の推移と業績の概要

重要業績の推移については、本ホームページの「業績の概要」ページをご覧ください。

項目	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
売上高	1,200,000	1,150,000	1,100,000	1,050,000	1,000,000
営業利益	150,000	140,000	130,000	120,000	110,000
経常利益	140,000	130,000	120,000	110,000	100,000
純利益	130,000	120,000	110,000	100,000	90,000

業績に配慮した安全で働きがいのある職場環境の整備（健康と働きがい）

健康と働きがいを両立させるための取り組みについて紹介しています。

- 健康診断の実施率向上
- メンタルヘルスマネジメント
- 働きがいのある職場環境の整備

生物多様性保全活動の推進

生物多様性保全活動の推進について紹介しています。

- 環境保全活動の実施
- 自然環境の保全
- 地域社会との連携

社会関連データ

項目	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
従業員数	2,855	2,855	2,855	2,855	2,855
売上高	1,200,000	1,150,000	1,100,000	1,050,000	1,000,000
営業利益	150,000	140,000	130,000	120,000	110,000

【補足資料】

■会社概要

【古河機械金属株式会社】（東京証券取引所プライム市場 証券コード 5715）

本社所在地：東京都千代田区大手町二丁目6番4号（常盤橋タワー）

代表取締役社長：中戸川 稔

事業内容：鉱山開発で培った技術を受け継ぎ、現在では機械事業3部門（産業機械部門、ロックドリル部門、ユニック部門）と素材事業3部門（金属部門、電子部門、化成品部門）を展開しています。

創業：1875（明治8）年8月

設立：1918（大正7）年4月

資本金：282億818万円

従業員数：〈連結〉2,855人（単独）208人〔2024年3月31日現在〕

WEBサイト：<https://www.furukawakk.co.jp>